

子どもの笑顔が輝き
勢いのある学校

No. 34 (H30. 1. 10発行) 文責 校長 福田雅也

清流

そうじで心をみがく

あけましておめでとうございます。

新しい年、2018年も、甲佐小学校のすべての子どもたちの笑顔が輝くよう、全職員力を合わせ何事も前向きに頑張っていきます。

本年も 昨年同様 どうぞよろしく願いいたします。

さて、それぞれのご家庭では、きっと温かく賑やかで素晴らしいお正月を迎えられたことと思えます。我が家のお正月はというと、特にこれといったイベントもなく、本当にゆっくりと過ごさせていただきました。そんな中、私自身は新年にあたり、二つの抱負をたてました。

一つは「健康のため運動をすること」です。無趣味な私にとっては、ランニングやウォーキングが一番いいのですが、とても続ける自信がなく、お金を払って自分を追い込み、会員制スポーツクラブに入会、ネズミのようにマシンの上を歩いています。(まだ、走れません)周りから見た自分の姿を想像すると、なんと情けなく、こっけいだなと思いつつも、健康維持を一番に考え汗を流しています。

もう一つ立てた抱負は「毎朝、始業前に学校のトイレをそうじすること」です。現在私は、子どもたちの登校の安全を確保したり、登校の状況を把握したりするために、始業前、校区内の様々な場所を巡回しています。この取組は、様々なプラス面があり、とても有意義なので今後も続けていきたいと思っていました。しかし、今回、この取組を「トイレそうじ」に変更することにしました。理由は、3学期に重点的に取り組むことを「そうじで心をみがく」として、子どもたちに示したからです。具体的な取組点として次の四つも同時に示し、今学期は「そうじ」に絞って学校全体で頑張っていくことにしました。

- ① 無言そうじ
- ② 時間いっぱい頑張る
- ③ 床をふくときはひざをついて
- ④ 自分の役割を考えて (縦割り班でそうじを行っているための項目)

これらを示したことでお分かりいただけますように、2学期までのそうじ時間の様子はあまり褒められた状況ではありませんでした。しかも、その状況がずっと続いていることで、それがあたりまえになっているように感じたのです。「そうじはがんばらなくてもいい 時間がくれば終わる」ということを、毎回毎回確認しているようなものだと思ったのです。

さらに「心をみがく」という言葉を位置づけたのは、そうじを時間いっぱい一生懸命に頑張ることができる子どもであれば、「あたりまえのことがあたりまえにできる」だろうし、その他のことにも一生懸命に取り組むことができると考えたからです。

そして、子どもたちに言うだけでなく、自分の後ろ姿で示すことが何より重要であるとの考えから、私の二つ目の抱負が決まったのです。

残念ながら、朝の巡回はしばらくお休みしますが、その分、学校でのトイレ掃除を頑張るつもりです。そのことで、子どもたちに何か伝われればいいなと思っているところです。